

12月3日～12月9日は「障害者週間」です

～誰もが地域で安心して
暮らすことができる

まちをめざして～

「障害者基本法」では、毎年、12月3日から9日までを「障害者週間」と定めています。この期間は、障がいのある人が社会、経済、文化などのあらゆる分野の活動に参加することを促進するとともに、障がいのある人に対する関心と理解を深める活動が実施されています。

また、「障害を理由とする差別の解消の促進に関する法律」（障害者差別解消法）では、障がいの有無にかかわらず、お互いを尊重して暮らせる共生社会の実現をめざし、不当な差別的取り扱いの禁止と、合理的配慮について定められています。

「障害者週間」を機会として、障がいのある人への関心と理解を深め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりについて考えましょう。

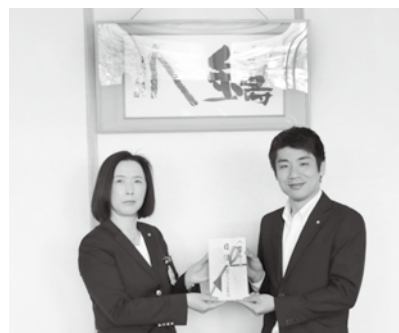


◆問い合わせ先 福祉保健課 福祉担当 ☎0748-5216573

寄付

日野中学校に
寄付をいただきました

10月18日（火）、蒲生ゴルフ倶楽部（中西由喜支配人）から、これからの日野町を担っていくてほしいとの思いを込めて、日野中学校へ10万4千円を寄付していただきました。これは8月28日（日）に蒲生ゴルフ倶楽部で開催された「第20回ふれあい、支えあうチャリティーコンペ」の参加者から寄せられたものです。



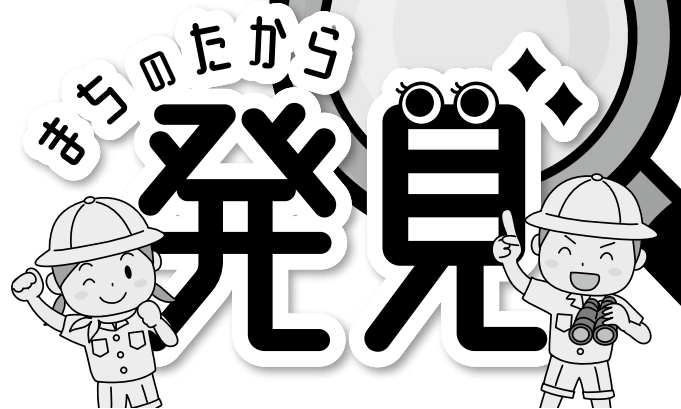
大切に活用させていただきます。
ありがとうございました。

寄付

トイレットペーパーを
寄贈いただきました

10月26日（水）、湖東信用金庫（矢島之貴理事長）から子どもたちに環境問題に関心をもってもらうため、庫内で発生した廃棄文書類をリサイクルしてつくられた、トイレットペーパー500ロールを寄贈いただきました。寄贈いただいたトイレットペーパーは、各教育施設で大切に使用させていただきます。
ありがとうございました。





9月17日(土)・19日(月・祝)に(公財)日本レクリエーション協会主催の「第76回全国レクリエーション大会2022 in ひょうご」で、レクリエーションの普及振興に多大な功績をあげて表彰された蒲生洋子さんにお話を伺いました。

活動内容について

蒲生さんは、平成4年2月に発足した日野レクリエーション協会「とんぼ」に携わられ、日野町社会福祉協議会と連携し30年にわたり福祉レクリエーションを中心として活動をしてこられました。

日野公民館で開催中の「ゆかいな寺



日野レクリエーション協会 会長
蒲生 洋子さん(松尾2区)



子屋」では毎月2回高齢者の介護予防を目的としたレクリエーションを行い、町内各地域の敬老会や子育て支援、福祉施設などに出向いて幅広く活動をされています。

また、県内各地で講習会を行うなど、レクリエーションの振興活動に努められています。

身近なものを使ったレクリエーション

どのようなレクリエーションを行っているのか蒲生さんにたずねると、体操のように道具を使わないもののほか、新聞紙や牛乳パック、ペットボトルなど身近なものを使った遊びを数えきれないほど挙げてくださいました。お金はかけなくても、年齢や性別に関係なく楽しめる遊びがたくさんあるそうです。

蒲生さんは「日常生活の中でアイデアが生まれ、さまざまなレクリエーションにつながっている」と教えてくださいました。

人に楽しんでもらうためには自分も楽しむ

活動に参加された方から「楽しかった。また来てね」や「ゆかいな寺子屋に通って足が上がるようになった」など嬉しい声があるそうです。

蒲生さんは「自分が楽しんでいないと相手にも楽しんでもらえないし、楽しんでるからこそ続けてこられた」と話されました。

これからも「一緒にいて楽しくなる、意欲がわいてくる」と思ってもらえるように活動を続けられるそうです。

長年にわたり地域のスポーツ振興に貢献 滋賀県スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞

8月28日(日)に開催された滋賀県スポーツ推進委員協議会功労者等表彰式で、堀江やち代さん(杣)、曾羽道明さん(深山口)が「滋賀県スポーツ推進委員協議会功労者表彰」を受賞されました。

この賞は、スポーツ推進委員として10年以上、地域のスポーツ振興に貢献された方に贈られるもので、受賞者のお2人は日野町のスポーツ振興に長年ご尽力いただいています。

おめでとございます。



曾羽 道明さん



堀江 やち代さん